

指導の重点

(1)各教科・科目の指導

- ★①生徒が幅広い教養を身につけることのできる教育課程に基づいた参加型の授業を展開することにより、主体的に学び、主体的に考える力を育成して学力向上を図る。また、真剣に学びあい、共通の目標の下に協働する中で自律の精神や道徳の実践力を高める。
- ②全校生徒による朝学習や放課後等における個別指導、放課後の自習室の充実を図り、生徒が主体的に学習する態度を育てるとともに、生徒の言語活動や読書活動を充実させて個性を活かす教育の充実に努める。
- ア 基礎・基本の定着を図るため、習熟度別指導を第2学年の英語表現Ⅱは2クラス3展開、1クラス2展開を実施する。体育の授業は、第1学年2単位、第2学年2単位、第3学年2単位の少人数指導授業を実施する。
- イ 「指導と評価の一体化」を目指し、生徒の主体的な学びや深い学びが一層促進されるよう改善を進め、内容の充実を図る。
- ウ コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・ⅢでJET及びALTとのティームティーチングを行い、英語能力の向上を図る。
- ③進学指導の充実を図り、生徒の期待に応えるきめ細かな指導を行う。
- ア 早朝や放課後等の自主学習環境を整え、長期休業期間に講習を実施する。また個に応じた指導を実践して進学指導を充実する。
- イ スタディサポート・スタディサプリや校内実力テストを実施、分析して、進学に向けた生徒の学力を向上させる。
- ④授業改善を推進して都民の期待に応える教育活動を行う。
- ア 生徒による授業評価及び校内実力テストの結果を分析して校内研修を実施し、学習指導の充実と授業改善を図る。
- イ 学校運営連絡協議会を通じて学校評価アンケートを実施。授業公開におけるアンケートを参考にして、教育活動の改善を図る。
- ⑤「体育」の授業を充実させ、部活動や体育的行事等も通じて生徒の体力を向上させ、心身の調和のとれた発達となるよう指導する。
- ⑥LHR、生徒会・委員会活動、公民の学習を中心に主権者教育の推進を図り、保健、家庭を含めた中で、道徳教育を充実させる。
- ⑦鹿本学園との生徒会役員を中心とした交流会やオープンフェスタへの参加を通じて特別支援教育の理解推進と充実を図る。
- ⑧教科「人間と社会」を活用して、地域における体験活動等を通して社会人として生きる意識と力を身に付けさせる。

(2)特別活動の指導

生徒会活動及び各種委員会活動と、その土台となるホームルーム活動の充実を図るために、各学年及び生徒部が連携し、指導を充実させる。学習指導要領に基づいた学校行事等、各活動に生徒全員を主体的に参加させるとともに、いじめ防止や自殺対策に資する教育を推進するために温かな人間関係とクラス作りを目指した指導を行う。

- ★海外の高校生や大学生、留学生との交流を図り国際理解教育を推進するとともに、オリンピック・パラリンピック教育の継続と2020レガシーの継承を図り、オリンピック・パラリンピック精神を涵養する。

(3)生活指導

基本的な生活習慣などの指導を徹底するとともに、授業開始のチャイムとともに授業を開始し、生徒に時間を守る意識の育成を図る。保護者や地域住民などとの連携・協力の下、生徒部を中心として全教職員が協力して組織的に道徳教育の充実を目指す。

- 学校安全計画に基づき、感染症対策及び防災教育を推進するために下記のことに重点を置く。

- ①社会的なマナー・ルールの遵守および豊かな心の育成（遅刻・頭髮・服装の指導、授業規律の徹底）
- ②生活安全の確保（感染症防止指導、自転車の安全運転指導、薬物乱用防止教室の実施、セーフティ教室の実施、防災訓練の実施）

- 部活動指導を通じて、体力の向上を推進するとともに、規範意識を高め、心の教育を図る。

(4)進路指導

- ★①「30歳の時になりたい自分」を考えさせ、生徒一人一人の進路実現のため、進路指導・進学指導、キャリア教育の推進を図る。
- ア長期休業期間中に実施する講習会の講座数確保、自主学習の取り組みを組織的に進め、講習会等への参加人数を増加させる。
- イ国公立大学、難関私大、GMARCH、日東駒専合わせて100人以上の合格を達成する。
- ②「30歳の時になりたい自分」を考えさせ、自己実現の重要性を理解させ、全教員が協力して組織的に目標達成のための実践を促す。
- ア進路指導を工夫、改善して「諦めさせない進路指導」を組織的に進め、生徒の第一志望を実現させる。
- イ入学時セミナー・進路指導など3年間を見据えた継続的な進路指導・学習指導を充実させ、目標達成への意識を高める。

(5)総合的な探究の時間

第1学年の「人間と社会」を「総合的な探究の時間」で代替し、生きることの基礎的・基本的な知識を習得し、社会貢献できる資質を育成する。関係機関等での体験活動等を通して、地域社会に対する理解を深め、職業観・勤労観を育み、キャリア教育を推進する。

- ①第3学年では、自己の在り方・生き方について自覚を深めさせ、職業観・人生観を育み、キャリア教育を完成する。
- ②「30歳の時になりたい自分」を考えさせ、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断させて、思考力、問題解決能力を育成する。
- ③必要な情報を主体的に収集して考えることを通して、情報収集能力、読解力、分析能力を育成する。
- ④「キャリア・パスポート」を有効に活用し、レポート作成やプレゼンテーション等の実践を通して、表現する能力を育成する。

5 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1)教育目標達成のための特色ある教育活動

近隣小・中学校・特別支援学校などと連携し、授業公開(4回以上)・合同研修会(2回以上)・交流体験活動・合同部活同(3部以上)・生徒会交流(2回以上)などや、学校運営連絡協議会の意見を基に、教育内容及び学校運営の充実を図る。

(2)学校週5日制への対応

- ①希望生徒に対して、検定取得のための土曜講習や個に応じた進路実現のための個別指導を行う。
- ②外部指導員の活用や地域スポーツ団体などとの連携を視野に入れ、部活動のさらなる活性化を図り、対外活動成績の向上を目指す。